



ロベルト・杉浦 & タンゴ・グレリオ タンゴ～^{おも}想いでの^{うた}詩

魂を削って歌う男、ロベルト・杉浦が
バンドネオンとギターの哀愁の響きにのせて歌う
愛と情熱のアルゼンチンタンゴライブ !!
タンゴ・・・そこには人生の全てがある・・・

2015年 11月15日 (日)

開演 18:00 (開場 17:15)

(前売) ¥3,000 (当日 ¥3,500)

会場: フェリーチェホール (中西クリニック 2階)

- ◆ 阪急宝塚線「石橋」駅西口下車 徒歩10分 (裏面に地図有り)
- ◆ 駐車場の台数が限られていますので、近くのコインパーキングをお使いください。
- ◆ ご不明な点はこちらまでお問い合わせください。Tel: 090-2197-0709

◆ チケット/お問い合わせ (米阪ギター教室)

Tel: 072-743-6207 Mail: g_yone2007@yahoo.co.jp



ロベルト・杉浦 (タンゴ・ラテン歌手) Roberto Sugiura

19歳でタンゴ歌手としてプロデビュー。アルゼンチンへ渡り、大歌手ロベルト・ルフィーノに認められ、ロベルトの名前を与えられる。その後ラテンアメリカ各地で現地のミュージシャンらと演奏活動に参加。1998年、キューバで開催されたボレロ国際フェスティバルに出演し、キューバ音楽界を熱狂させたことを切っ掛けに、ボレロ歌手としても華々しいスタートを切った。2000年、南米で1億人が観ている人気テレビ番組「サバド・ヒガンテ」にレギュラー出演し、その歌唱力とコミカルなキャラクターで人気を博し、知名度は南米中に広がった。20年の中南米での音楽活動を経て帰国後、2010年ビクターより「ダメウンベソ」(作詞:阿木耀子)をリリース。現在は、日本におけるタンゴ・ラテン歌曲の第一人者として、内外の数多くのミュージシャンと共演している。



タンゴ・グレリオ Tango Grelio

星野俊路(バンドネオン)、米阪隆広(ギター)によって結成された、日本では珍しい編成のアコースティック・デュオ。古典タンゴをベースとしたノスタルジックで下町情緒あふれるサウンドに定評があり、関西を本拠地に各地でアルゼンチンタンゴの魅力を伝えるべく演奏活動を行っている。デュオとしての活動の他、歌手やダンサーとの共演はもちろん、クラリネットやフルート、インドの伝統楽器など他楽器との共演も数多くこなす。2013年1stアルバム「デスデ・エル・アルマ〜心の底から」をリリースした。

